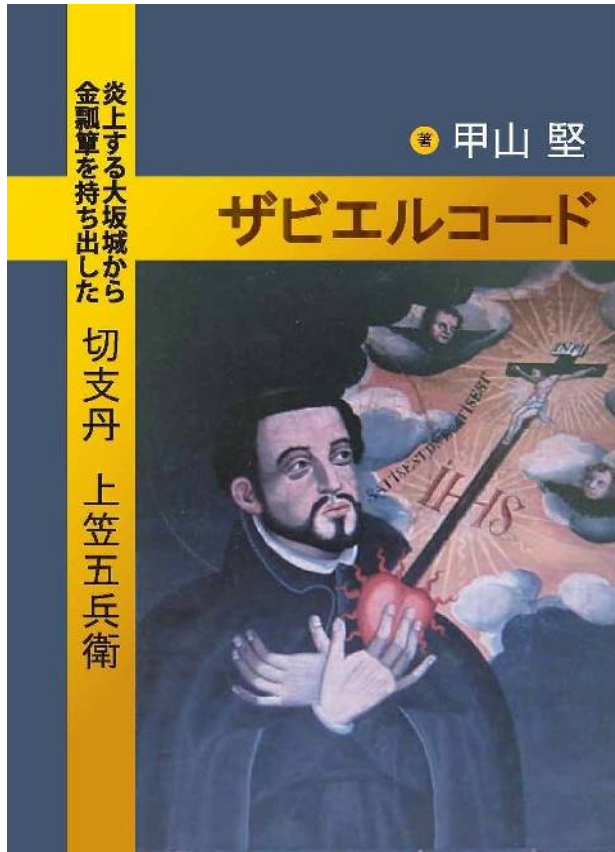


暗号(コード)解読の鍵は九州中央豊後竹田のキリシタンの里にあった
『ザビエルコード』 甲山 堅著

400年前の歴史と現代が織りなす興味尽きないノンフィクション・ノベル



2012年6月11日発売。発売 たちまち増刷。

九州の中央部、大分県竹田市に遺されていた古文書に、大坂落城の際、豊臣家馬印の百成瓢箪を携えて逃走した紅毛碧眼の切支丹、上笠五兵衛なる人物のことが書かれている。さらに他の古文書や謎の切支丹遺物をジグソーパズルのように詰め合わせると、大坂の陣勃発の前に幾つもの藩が加担した「1614年の謀」があったとする仮説が浮かび上がってくる。そこにはザビエルの遺志を継ぐ宣教師ら南蛮人の手も動いていたのではないか。第一級の資料に基づいて、関ヶ原の戦いから大坂城炎上へー歴史の大転機に謎に迫り、日本史に新しい光をあてる奥深いノンフィクション・ノベル。(左は表紙、下は帯の表裏)

☆豊後竹田には禁教令の後、宣教師たちが潜んで布教していた洞窟が実在する。キリスト 12 使徒の 1 人ヤコブ(スペイン語 SANTIAGO=日本語サンチャゴ)の石像頭部と 1612 年の年号を刻んだサンチャゴの鐘も遺っている。竹田市は岡藩城下町 400 年祭でこの鐘を復元しており、それが鳴るのは間もなくだ。



**大分県竹田市
推薦図書**

豊後竹田の切支丹ジグソーパズルを解く。日本史に新しい光をあてるノンフィクションノベル



竹田から響くロマンの音色!

400年の城下町と同じ時を歩んできた「サンチャゴの鐘」。刻まれた文字は「HOSPITAL SANTIAGO 1612」。数奇なる運命の鐘を復元して鳴らそうとする大分県竹田市・岡藩城下町 400年祭の挑戦が始まっています。左写真は「サンチャゴの鐘」。

著者：甲山堅氏は本籍大分県竹田市。1953年大阪生れ。早稲田大学卒。明治以来、祖父(甲山)、父(堅)、著者の三代に亘り、途中戦争で途切れそうになりながらも受け継いだ伝承と探索を執筆した。続篇も年内刊行予定。

ご注文申込書 貴店名/帖合	注文数	発行:eブックランド社 TEL 03-5930-5663 info@e-bookland.net FAX 03-3333-1384
	冊	甲山 堅 著 ザビエルコード 280頁/B6版/ソフトカバー/定価1500円+税 ISBN 978-4-902887-21-1 C0093

ご注文は JRCへ FAX:03-3294-2177(TEL:03-5283-2230)
 株式会社JRC経由ですべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。